

「第3期仙台市地方創生総合戦略」の進捗状況について

1.概要

「第3期仙台市地方創生総合戦略」は、まち・ひと・しごと創生法に基づく国の総合戦略を踏まえ、地方創生の取組の推進を目的に令和6年3月に策定したものである。当該戦略は、令和6年度から令和8年度までの3年間を計画期間として5つの基本目標を掲げ、各事業の進捗について数値目標やKPI(重要業績評価指標)の客観的指標による評価・検証を実施している。

総合戦略における5つの基本目標

- ①地域経済の中心である中小企業の活性化や、科学技術を核とするイノベーション創出を通じて、魅力ある「しごと」をつくります。
- ②地域の魅力発信による交流人口拡大・若者の地元定着や、域内外からの投資の誘引を図り、新たな「ひと」の流れをつくります。
- ③希望する方が安心して結婚や出産でき、子育てを楽しめる社会の実現とともに、子どもの成長と可能性への挑戦を支える教育環境づくりに取り組みます。
- ④高度な都市機能がコンパクトに集積し、豊かな自然環境と防災・減災への取り組みが調和した、持続可能でしなやかな「まち」をつくります。
- ⑤地域特性を踏まえ、誰もが安心して暮らし、学び、思い思いに活躍できるまちづくりを進めます。

2.令和6年度末時点での進捗状況

(1)5つの基本目標と対応する数値目標の進捗状況

基本目標2における数値目標「首都圏大学生等の就職による移住の支援件数」の実績が5.3%と伸び悩んでいるものの、それ以外についてはおおむね順調に推移している。(詳細は後述のとおり)

(2)国の交付金(デジタル田園都市国家構想交付金)を活用した事業の実績

令和6年度は、第3期総合戦略に関連する11事業において、地方創生に関する国の交付金を活用した。各事業は成果・進捗目標としてKPIを設定している。目標に対する達成状況は以下のとおり。

R6単年度の目標に対する 達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・11事業のうち、4事業については目標を達成した。 ・7事業のうち、例えば、「関係人口の創出・拡大に向けた「農」や「食」を軸とした情報発信コンテンツ創出事業」については、農業者へ要望のヒアリング等を行ったものの、事業活用までは至らなかったことにより、一部のKPIを達成できなかった。(詳細は後述のとおり)
計画期間全体の目標に達する 達成状況 (R6年度が計画期間の最終年度 となっている事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度が最終年度となる7事業のうち、3事業についてはKPIを達成した。 ・4事業のうち、例えば「東北六市連携による伝統的夏祭りを活用した交流人口拡大プロジェクト」については、開催日の並びや天候等の影響等により一部のKPIを達成できなかった。(詳細は後述のとおり)

基本目標 1	数値目標	基準値	目標値	R6実績値	目標値に対する R6評価
地域経済の中心である中小企業の活性化や、科学技術を核とするイノベーション創出を通じて、魅力ある「しごと」をつくります。	事業拡大に取り組む予定がある企業割合	R5年度 23.8 %	R8年度内 30 %	28.3 %	進捗率 72.6 %
	労働者数(個人市民税の納税義務者数)	R5年度 474,702 人	R8年度内 490,000 人	479,972 人	進捗率 34.4 %

基本目標 2	数値目標	基準値	目標値	R6実績値	目標値に対する R6評価
地域の魅力発信による交流人口拡大・若者の地元定着や、域内外からの投資の誘引を図り、新たな「ひと」の流れをつくります。	市内年間宿泊者数	R1年 624 万人泊	R8年 680 万人泊	650 万人泊	進捗率 46.4 %
	誘致による企業立地件数	R2～4年度(合計) 74 件	R6～8年度(合計) 100 件	33 件	進捗率 33.0 %
	首都圏大学生等の就職による移住の支援件数	—	R6～8年度(合計) 150 件	8 件	進捗率 5.3 %

基本目標 3	数値目標	基準値	目標値	R6実績値	目標値に対する R6評価
希望する方が安心して結婚や出産でき、子育てを楽しめる社会の実現とともに、子どもの成長と可能性への挑戦を支える教育環境づくりに取り組みます。	子育てを楽しめる環境づくりに関する市民の評価	R5年度 2.55 点	R9年度内 2.8 点	2.65 点	達成率 94.6 %
	児童生徒自身の情報活用能力に関する肯定的評価の割合	R5年度 76.6 %	R9年度内 概ね90 %	77.7 %	達成率 86.3 %

基本目標 4	数値目標	基準値	目標値	R6実績値	目標値に対する R6評価
<p>高度な都市機能がコンパクトに集積し、豊かな自然環境と防災・減災への取り組みが調和した、持続可能でしなやかな「まち」をつくります。</p>	市内の温室効果ガス 排出量	H25年度 911 万t-CO2	R12年度 412 万t-CO2	R5年度(速報値) 690 万t-CO2	進捗率 44.3 %
	災害対策や防災・減災の 取り組みに関する市民の 評価	R5年度 2.96 点	R9年度 3.1 点	 3.01 点	達成率 97.1 %

基本目標 5	数値目標	基準値	目標値	R6実績値	目標値に対する R6評価
<p>地域特性を踏まえ、誰もが安心して暮らし、学び、思い思いに活躍できるまちづくりを進めます。</p>	仙台市が住みやすいと 思う市民の割合	R5年度 90.7 %	R9年度内 94 %	 89.9 %	達成率 95.6 %
	仙台市に住み続けたいと 考える市民の割合	R5年度 86.3 %	R9年度内 90 %	 86.4 %	達成率 96.0 %

5つの基本目標と対応する数値目標の令和6年度末時点の進捗状況について

資料3

基本目標1	数値目標	基準値	目標値	R6実績値	目標値に対するR6評価
地域経済の中心である中小企業の活性化や、科学技術を核とするイノベーション創出を通じて、魅力ある「しごと」をつくります。	事業拡大に取り組む予定がある企業割合	R5年度 23.8 %	R8年度内 30 %	28.3 %	進捗率 72.6 %
	労働者数(個人市民税の納税義務者数)	R5年度 474,702 人	R8年度内 490,000 人	479,972 人	進捗率 34.4 %

基本目標1に紐づくデジ田交付金活用事業 (詳細は資料4のとおり)

①産官学連携で取り組むデータインフォームド型のビジネス変革推進事業【R6～8】

経営層に向け、データとデジタル技術の活用に関する講座やワークショップの開催等を行う。また、データを活用した新規事業開発・既存事業高度化を担う人材の育成や変革プロセスの伴走支援に加え、各種実証実験や検証の場の提供に関する支援等を行い、モデルケースの創出や横展開を図る。

《継続》

②販路開拓エコシステムの推進による地元中小企業成長促進事業【R4～6】

新型コロナウイルスの影響による市場環境の変化や販売機会の減少に苦しむ地元中小企業に対して、域内外の関係機関が各々の強みを活かし連携して、販路開拓を支援することで、地元企業の成長を促す。

③関係人口の創出・拡大に向けた「農」や「食」を軸とした情報発信コンテンツ創出事業【R4～6】

農業施策の成果を新たに観光施策と連携させ、「農」や「食」を軸とした情報発信と、新たな商品やサービスの創出の支援をあわせて行うことで、誘客促進や域内経済循環の拡大、関係人口の創出・拡大を図り、地方創生の取組みとしての深化・高度化に取り組む。

④仙台市スマートシティ推進事業【R4～6】

まちづくりにおいてデジタル技術をより効果的に活用していくため、スマートシティの枠組みの導入を進める。スーパーシティ構想をはじめとし、地域の強みや課題に応じた各エリアの取り組みを有機的につなげることにより、スマートシティを実現し、その取り組みを市内や東北地方に横展開することを目指す。

⑤「Capital of Social Innovation : SENDAI」の実現に向けたソーシャル・スタートアップ・エコシステム構築事業【R4～6】

スタートアップ・エコシステムの形成促進のため、首都圏等域外から多様な人材を呼び込むための情報発信、首都圏等の人材とソーシャル・スタートアップとのマッチング機会の創出、支援人材の誘致等を通し、ソーシャル・スタートアップが仙台・東北地方から持続的に産み出され、成長できる環境を構築する。

基本目標 2	数値目標	基準値	目標値	R6実績値	目標値に対する R6評価
地域の魅力発信による交流人口拡大・若者の地元定着や、域内外からの投資の誘引を図り、新たな「ひと」の流れをつくります。	市内年間宿泊者数	R1年 624 万人泊	R8年 680 万人泊	650 万人泊	進捗率 46.4 %
	誘致による企業立地件数	R2～4年度(合計) 74 件	R6～8年度(合計) 100 件	33 件	進捗率 33.0 %
	首都圏大学生等の就職による移住の支援件数	—	R6～8年度(合計) 150 件	8 件	進捗率 5.3 %

基本目標 2 に紐づく デジ田交付金活用事業

(詳細は資料 4 のとおり)

《継続》

⑥仙台・東北連携による域内循環及び交流人口拡大戦略再構築事業【R5～7】

仙台・東北の交流人口拡大を軸とした地域の持続可能性確保に向け、東北の自治体等との連携体制を再構築するとともに、仙台を起点とした東北域内循環の促進による地域経済の活力の還流と、広域連携での域外誘客の強化に取り組む。

⑦東北六市連携による伝統的夏祭りを活用した交流人口拡大プロジェクト【R4～6】

東北最大の魅力である夏祭りを入り口とし、旅行目的地としての東北を浸透させ、東北への来訪を促進する。東北の六祭りを中心に、各地の風土や自然、食等に広がりを持たせ、文化・観光の魅力として発信し、さらに、スタンプラリー等の実施により、東北域内在住者を含めた周遊を促す。
※青森市、盛岡市、秋田市、山形市、福島市と連携(各自治体交付対象事業費:5,000千円)

⑧サステナブルツーリズム推進事業【R4～6】

ウィズコロナ・アフターコロナの都市間競争を見据え、地域が一体となって交流人口拡大に向けた戦略やエリア別ブランディングを推進する体制を構築するとともに、歴史や文化などの仙台・東北の地域資源を活かした魅力的なコンテンツの造成とプロモーションの強化に取り組み、持続可能な観光地域づくりを実現させる。

基本目標 3	数値目標	基準値	目標値	R6実績値	目標値に対する R6評価
希望する方が安心して結婚 や出産でき、子育てを楽し める社会の実現とともに、 子どもの成長と可能性への 挑戦を支える教育環境づく りに取り組みます。	子育てを楽しめる環境づく りに関する市民の評価	R5年度 2.55 点	R9年度内 2.8 点	2.65 点	達成率 94.6 %
	児童生徒自身の情報活用 能力に関する肯定的評価 の割合	R5年度 76.6 %	R9年度内 概ね90 %	77.7 %	達成率 86.3 %

基本目標 4	数値目標	基準値	目標値	R6実績値	目標値に対する R6評価
高度な都市機能がコンパクトに集積し、豊かな自然環境と防災・減災への取り組みが調和した、持続可能でしなやかな「まち」をつくります。	市内の温室効果ガス 排出量	H25年度 911 万t-CO2	R12年度 412 万t-CO2	R5年度(速報値) 690 万t-CO2	進捗率 44.3 %
	災害対策や防災・減災の 取り組みに関する市民の 評価	R5年度 2.96 点	R9年度 3.1 点	 3.01 点	達成率 97.1 %

基本目標 4 に紐づくデジ田交付金活用事業

(詳細は資料4のとおり)

《継続》

⑨世界の災害リスク・気候変動リスク低減に貢献するBOSAI-TECHビジネス実証実装支援事業【R4～6】

「仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォーム」を進化・発展させ、テクノロジーを活用した新たな防災ビジネスの創出支援、産学官金連携によるオープンイノベーションプログラム、実証実験支援等により、「防災・減災・気候変動×テクノロジー」分野のビジネスアイデア創出、実証実験、社会実装、市場展開までを一体的に実施することで、参画企業の継続的な成長支援と産業面から世界の災害リスク低減に貢献する。

基本目標 5	数値目標	基準値	目標値	R6実績値	目標値に対する R6評価
地域特性を踏まえ、誰もが安心して暮らし、学び、思い思いに活躍できるまちづくりを進めます。	仙台市が住みやすいと思う市民の割合	R5年度 90.7 %	R9年度内 94 %	89.9 %	達成率 95.6 %
	仙台市に住み続けたいと考える市民の割合	R5年度 86.3 %	R9年度内 90 %	86.4 %	達成率 96.0 %

基本目標 5 に紐づく デジ田交付金活用事業

(詳細は資料 4 のとおり)

《継続》

⑩南部拠点・長町「賑わいの交流拠点」形成促進事業【R5～7】

本市の南部拠点地域(長町地区)において、日常的に賑わいや交流が生まれる「歩いて楽しい街並み」の形成を目指し、歩行空間や空き店舗の活用を検討を行う等まちの将来ビジョンの作成に向けた取り組みを地域との協働により進めるとともに、官民連携の推進会議立ち上げを図る。

⑪泉中央地区活性化事業【R5～7】

民間主体の協議会の立ち上げや泉6大学の学生を主体としたワーキンググループの開催等を通じて、地域の一体感創出を図り、泉区役所建替を契機とした泉中央地区の賑わい創出に向け、回遊・滞留の仕掛けづくりや将来ビジョン策定に取り組む。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）を活用した事業の令和6年度実績について

基本目標 1

《新規》

1.産学官連携で取り組むデータインフォームド型のビジネス変革推進事業【1年目】

計画期間	令和6～8年度	R6交付対象 事業費	総事業費：52,460,000円 交付確定額:26,204,400円	担当課	経済局イノベーション企画課
事業概要	地域企業の高付加価値型ビジネスへの変革を支援するため、経営層に向け、組織文化の改革支援も含めた、データとデジタル技術の活用に関する講座やワークショップを開催するほか、異業種ネットワーク構築支援等を行う。また、データを活用した新規事業開発・既存事業高度化を担う人材の育成や変革プロセスの伴走支援に加え、各種実証実験や検証の場の提供に関する支援等を行い、モデルケースの創出や横展開を図る。				
R6の 主な取組	AI・データ利活用Project Based Learning(PBL)や、AI・データ利活用ビジネス創出プログラム・メンタリングプログラムのAI・データ利活用ビジネス開発事業、先端デジタル技術ユースケース創出支援を実施したほか、AI・データ利活用人材育成事業のために、AI・データ利活用関連教育プログラム及びAI・データ利活用ビジネス開発促進セミナーを実施するなど、AIやデータ利活用による新事業創出と高度IT人材の育成を目的とする事業を実施した。				

KPI		R6増加分	R7増加分	R8増加分	累計(増加分)	単位	R6目標 達成	(参考) 事業開始前
■ 地域における新規雇用者数	目標値	30	35	40	105	人	○	-
	実績値	52			52			
■ 本事業を通じたデータ利活用によるビジネス 創出数	目標値	25	30	35	90	件	○	-
	実績値	26			26			
■ 本事業を通じて創出・育成されたデータ利活 用人材人数	目標値	200	220	240	660	人	○	-
	実績値	264			264			
■ 本事業を通じたモデルケース創出に向けた実 証実験数	目標値	3	4	4	11	件	○	-
	実績値	3			3			

<< 継続 >>

2. 販路開拓エコシステムの推進による地元中小企業成長促進事業【3年目】

計画期間	令和4～6年度	R6交付対象 事業費	総事業費 : 8,290,000円 交付確定額: 3,662,478円	担当課	経済局中小企業支援課
事業概要	新型コロナウイルスの影響による市場環境の変化や販売機会の減少に苦しむ地元中小企業に対して、域内外の関係機関が各々の強みを活かし連携して、販路開拓を支援することで、地元企業の成長を促す。				
R6の 主な取組	・協力事業者を中心に、BtoB、BtoCそれぞれの観点から、中小事業者同士が各々の強みを活かし連携して取引先を拡大することを目的とした取組みを実施した。 ・首都圏展示会出展による販路開拓事業として、東京インターナショナルギフトショー秋2024へ6社の出展支援を行った。				

KPI		R4増加分	R5増加分	R6増加分	累計(増加分)	単位	R6目標 達成	計画期間 通期の 目標達成	(参考) 事業開始前
■ 本事業を通じた商品・サービスの売上額	目標値	20,000	30,000	50,000	100,000	千円	○	○	18,000
	実績値	37,930	67,364	58,334	163,628				
■ 本事業を通じて増加した商談件数	目標値	100	150	200	450	件	×	○	-
	実績値	450	388	134	972				
■ 本事業を通じて増加した域外実店舗の売場 獲得箇所数	目標値	20	30	40	90	箇所	×	×	-
	実績値	23	32	25	80				
■ 本事業で支援した延べ事業者数	目標値	100	120	150	370	事業者	×	○	-
	実績値	225	230	141	596				

3.関係人口の創出・拡大に向けた「農」や「食」を軸とした情報発信コンテンツ創出事業【3年目】

計画期間	令和4～6年度	R6交付対象 事業費	総事業費 :14,358,000円 交付確定額: 6,342,837円	担当課	経済局農業振興課
事業概要	農業施策上の成果を新たに観光施策と連携させ、「農」や「食」を軸とした情報発信と、その素材となる新たな商品やサービスの創出の支援をあわせて行うことで、誘客促進や域内経済循環の拡大、ひいては関係人口の創出・拡大を図り、地方創生の取り組みとしての深化・高度化に取り組む。				
R6の 主な取組	6次産業化や農商工連携等の取り組みへの支援、ホームページ・SNSでの情報発信、生産から流通・販売までを見据えたビジネスモデルの構築として仙台産「今朝採り枝豆」の飲食店・量販店提供を行った。 また、10・11月は仙台産農産物を使用する飲食店を巡るスタンプラリーの開催、11月は1か月間を「とれたて仙台」地産地消月間として、東北の情報発信拠点施設において特別メニュー提供などのイベントを開催したほか、多様な関係団体と連携し、全市的な事業展開を図った。				

KPI		R4増加分	R5増加分	R6増加分	累計(増加分)	単位	R6目標 達成	計画期間 通期の 目標達成	(参考) 事業開始前
■ インスタグラムでのハッシュタグ「#とれたて仙台」投稿数	目標値	32	50	70	152	件	○	○	180
	実績値	723	704	276	1,703				
■ 6次産業化施設における従業員雇用者数	目標値	25	6	6	37	人	×	○	-
	実績値	51	5	▲ 3	53				
■ 新商品開発件数	目標値	3	3	3	9	件	×	×	2
	実績値	1	4	2	7				
■ 6次産業化訪問相談件数	目標値	8	8	8	24	件	×	×	6
	実績値	13	5	1	19				

4.仙台市スマートシティ推進事業【3年目】

計画期間	令和4～6年度	R6交付対象 事業費	総事業費 :68,459,000円 交付確定額:31,701,000円	担当課	まちづくり政策局まちのデジタル推進課 まちづくり政策局プロジェクト推進課
事業概要	まちづくりにおいてデジタル技術をより効果的に活用していくため、スマートシティの枠組みの導入を進める。スーパーシティ構想をはじめとし、地域の強みや課題に応じた各エリアの取り組みを有機的につなげるにより、スマートシティを実現し、その取り組みを市内や東北地方に横展開することを目指す。				
R6の 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・DATA SENDAI プラットフォームの立上げと運営 ・広報(スマートシティの取り組みをワークショップを通じて幅広く周知) ・開発支援プログラム「DATA SENDAIフロントライン」 ・仙台市×東北大学スマートフロンティア協議会運営 				

KPI		R4増加分	R5増加分	R6増加分	累計(増加分)	単位	R6目標 達成	計画期間 通期の 目標達成	(参考) 事業開始前
■ データを活用したサービスの実証実験および実装件数	目標値	3	6	8	17	件	○	○	-
	実績値	3	6	8	17				
■ 本事業により創出したサービス登録者数	目標値	200	250	700	1,150	人	×	○	-
	実績値	335	1,056	258	1,649				
■ 市民ポータル(仮)の利用者数	目標値	-	-	1,300	1,300	人	○	○	-
	実績値	-	88	3,278	3,366				

5. 「Capital of Social Innovation : SENDAI」の実現に向けたソーシャル・スタートアップ・エコシステム構築事業【3年目】

計画期間	令和4～6年度	R6交付対象 事業費	総事業費 : 79,455,000円 交付確定額: 39,713,917円	担当課	経済局スタートアップ支援課
事業概要	<p>仙台の強みを活かしつつ、国内外の社会課題解決に資するビジネスを創出するスタートアップ・エコシステムの形成促進のため、首都圏等域外から多様な人材を呼び込むための情報発信、首都圏等の人材とソーシャル・スタートアップとのマッチング機会の創出、支援人材の誘致等を通じ、ソーシャル・スタートアップが仙台・東北地方から持続的に産み出され、成長できる環境を構築する。</p>				
R6の 主な取組	<p>産学官金連携コンソーシアムによるソーシャル・スタートアップ情報発信の強化と、仙台スタートアップスタジオへの支援人材との連携強化、首都圏等からの人材誘致のさらなる促進に取り組んだ。</p>				

KPI		R4増加分	R5増加分	R6増加分	累計(増加分)	単位	R6目標 達成	計画期間 通期の 目標達成	(参考) 事業開始前
■ 本事業を通じて生み出されたソーシャル・スタートアップコミュニティ参加者数	目標値	500	1,300	3,500	5,300	人	×	×	-
	実績値	1,076	1,686	1,010	3,772				
■ 本事業を通じて生み出されたプロボノマッチング数	目標値	5	12	18	35	件	○	○	-
	実績値	6	15	24	45				
■ 本事業を通じて生み出されたスタートアップ支援拠点利用者数	目標値	50	130	350	530	人	○	○	-
	実績値	134	1,005	4,306	5,445				

基本目標 2

《継続》

6. 仙台・東北連携による域内循環及び交流人口拡大戦略再構築事業【2年目】

計画期間	令和5～7年度	R6交付対象 事業費	総事業費 :51,186,000円 交付確定額:24,760,549円	担当課	文化観光局東北連携推進室
事業概要	仙台・東北の交流人口拡大を軸とした地域の持続可能性確保に向け、東北の自治体等との連携体制を再構築するとともに、仙台を起点とした東北域内循環の促進による地域経済の活力の還流と、広域連携での域外誘客の強化に取り組む。				
R6の 主な取組	広域連携ネットワークの形成に向けた研修会等を開催しながら、効果的な広域観光の体制づくりについての検討を行うとともに、1年目に実施した本市のマーケット機能を活用した東北の魅力発信イベントでは、他自治体からも財政負担を求めるなど、持続性の確保に向けた検討を進めた。また、東北域内での循環を加速させるための事業に取り組む一方で、インバウンドを含めた域外からの誘客に向けて、ウェブメディアを活用した情報発信のほか、大都市圏での誘客イベントの開催・出展を行った。				

KPI		R5増加分	R6増加分	R7増加分	累計(増加分)	単位	R6目標 達成	(参考) 事業開始前
■ オウンドメディア等のPV数	目標値	30,000	50,000	50,000	130,000	PV	○	-
	実績値	144,476	214,291		358,767			
■ 東北の魅力発信拠点等の累計利用者数	目標値	58,566	60,455	62,345	181,366	人	○	56,677
	実績値	83,963	131,862		215,825			
■ 本市と連携する東北の自治体数	目標値	10	30	30	70	自治 体	○	-
	実績値	29	39		68			

7.東北六市連携による伝統的夏祭りを活用した交流人口拡大プロジェクト【3年目】

計画期間	令和4～6年度	R6交付対象 事業費	総事業費：10,000,000円 交付確定額：4,904,874円	担当課	文化観光局東北連携推進室
事業概要	東北最大の魅力である夏祭りを入り口とし、旅行目的地としての東北を浸透させ、東北への来訪を促進する。東北の六祭りを中心に、各地の風土や自然、食等に広がりを持たせ、文化・観光の魅力として発信し、さらに、スタンプラリー等の実施により、東北域内在住者を含めた周遊を促す。 ※青森市、盛岡市、秋田市、山形市、福島市と連携(各自治体交付対象事業費:5,000千円)				
R6の 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・東北の県都六市への誘客及び周遊を促進するため、WEBサイトでの情報発信、デジタルスタンプラリー、観光物産プロモーション、夏祭り旅行商品造成に取り組んだ。 ・情報発信では、年間36本の季節の記事を掲載したほか、WEB広告による周知広報を行い、昨年度と比較し約2倍の385,102件のPV数を獲得した。 ・デジタルスタンプラリーは6月から8月の3か月間実施し、2,011人の方に参加いただいた。 ・観光物産プロモーションでは、東京都(なかの東北絆まつり、SAKURA FES NIHONBASHI)及び大阪府(御堂筋ランウェイ)で計3回イベント出演及び観光PRを行った。 ・旅行商品造成については、六市の夏祭りを体験できるコンテンツを6本作成し販売を行った。 				

KPI		R4増加分	R5増加分	R6増加分	累計(増加分)	単位	R6目標 達成	計画期間 通期の 目標達成	(参考) 事業開始前
■ 東北の県庁所在地六市(青森市、盛岡市、仙台市、秋田市、山形市、福島市) 延べ宿泊者数	目標値	4,200,000	300,000	300,000	4,800,000	人泊	×	×	10,200,000
	実績値	2,291,000	648,000	▲ 410,000	2,529,000				
■ 夏祭り(青森ねぶた祭、盛岡さんさ踊り、仙台七夕まつり、秋田竿燈まつり、山形花笠まつり、福島わらじまつり)入込数	目標値	8,790,000	180,000	180,000	9,150,000	人	×	×	1,342,000
	実績値	4,112,000	1,161,000	▲ 270,000	5,003,000				
■ 観光物産プロモーション実施回数	目標値	2	2	2	6	回	○	○	-
	実績値	2	3	3	8				
■ スタンプラリー参加者数	目標値	1,000	1,000	1,000	3,000	人	×	×	-
	実績値	2,279	135	▲ 403	2,011				

8.サステナブルツーリズム推進事業【3年目】

計画期間	令和4～6年度	R6交付対象 事業費	総事業費 :42,422,000円 交付確定額:20,141,639円	担当課	文化観光局観光戦略課 文化観光局東北連携推進室
事業概要	ウィズコロナ・アフターコロナの都市間競争を見据え、地域が一体となって交流人口拡大に向けた戦略やエリア別ブランディングを推進する体制を構築するとともに、歴史や文化などの仙台・東北の地域資源を活かした魅力的なコンテンツの造成とプロモーションの強化に取り組み、持続可能な観光地域づくりを実現させる。				
R6の 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携体制構築:データ等を踏まえた仙台・東北の交流人口拡大に向けた戦略を議論する組織を設置するとともに、仙台の個別のエリアごとにマネジメント体制を整備した。 ・戦略的な情報発信:デジタルマーケティング推進の取り組みとして、入念な分析作業のもとにウェブプロモーションを実施したことに加え、仙台・宮城・東北の「体験プログラム」の認知拡大と観光情報サイトの機能強化に取り組んだ。 ・コンテンツの充実:仙台・東北の地域資源を活かした新たなコンテンツの創出とプロモーションに取り組んだ。 				

KPI		R4増加分	R5増加分	R6増加分	累計(増加分)	単位	R6目標 達成	計画期間 満期の 目標達成	(参考) 事業開始前
■ 経済波及効果	目標値	44,606	61,077	12,357	118,040	百万円	○	○	99,132
	実績値	25,774	77,188	24,811	127,773				
■ 秋保地域社会増加数	目標値	0	18	20	38	人	○	○	▲ 61
	実績値	▲ 28	34	53	59				
■ 消費拡大額	目標値	12,237	18,356	24,474	55,067	千円	○	○	-
	実績値	14,922	16,690	68,597	100,209				
■ 宿泊者数	目標値	943,436	1,482,819	300,000	2,726,255	人泊	○	○	3,634,240
	実績値	1,132,622	1,237,382	504,612	2,874,616				

基本目標 4

《継続》

9.世界の災害リスク・気候変動リスク低減に貢献するBOSAI-TECHビジネス実証実装支援事業【3年目】

計画期間	令和4～6年度	R6交付対象 事業費	総事業費 :88,175,000円 交付確定額:43,456,870円	担当課	経済局イノベーション企画課 危機管理局危機対策課
事業概要	「仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォーム」を進化・発展させ、テクノロジーを活用した新たな防災ビジネスの創出支援、産学官金連携によるオープンイノベーションプログラム、実証実験支援等により、「防災・減災・気候変動×テクノロジー」分野のビジネスアイデア創出、実証実験、社会実装、市場展開までを一体的に実施することで、参画企業の継続的な成長支援と産業面から世界の災害リスク低減に貢献する。				
R6の 主な取組	事業創出プログラムにおけるFuture Awardsにおいて、現場視察ツアー、ワークショップ、アイデア発表会を実施。またOpen Bridgeにおいては、企業の提案に対し、自治体が興味のあるソリューションに投票し、投票結果の多いソリューションのデモ発表会を実施。事業化支援プログラムにおいて、海外展開支援プログラムとして、海外展開に関するリサーチ支援を実施したほか、実証実験支援・試作開発支援プログラムを通じ、ソリューションの有用性検証を行った。 また、プラットフォーム内の会員団体の交流促進等を目的に、情報発信イベントを開催した。				

KPI		R4増加分	R5増加分	R6増加分	累計(増加分)	単位	R6目標 達成	計画期間 通期の 目標達成	(参考) 事業開始前
■ 本事業を通じたBOSAI-TECHに関連する 新たな製品・サービスの開発件数(プロトタイプを含む)	目標値	30	30	37	97	件	○	○	39
	実績値	31	31	50	112				
■ 本事業を通じてBOSAI-TECHに関連する 新たな事業開発及び事業規模拡大に着手 する企業数	目標値	20	24	24	68	件	○	○	45
	実績値	62	30	65	157				
■ 本事業を通じた新たなBOSAI-TECHに関 連する実証実験の件数	目標値	12	14	18	44	件	○	○	14
	実績値	13	18	19	50				

基本目標 5

《継続》

10.南部拠点・長町「賑わいの交流拠点」形成促進事業【2年目】

計画期間	令和5～7年度	R6交付対象 事業費	総事業費 :8,439,000円 交付確定額:4,219,000円	担当課	太白区長町地域活性化推進室
事業概要	本市の南部拠点地域(長町地区)において、日常的に賑わいや交流が生まれる「歩いて楽しい街並み」の形成を目指し、歩行空間や空き店舗の活用を検討を行うなど、まちの将来ビジョンの作成に向けた取り組みを地域との協働により進めるとともに、官民連携の推進会議立ち上げを図る。				
R6の 主な取組	官民連携推進会議(長町・歩いて楽しい街並みづくり検討会)を設立し、ワーキンググループ(分科会)を計6回、検討会(親会)を2回実施するとともに、道路や公園を利活用した社会実験を3日間行い、社会実験を通じた交通量・人流等の調査・分析、情報発信やアンケート等による地域の意見聴取等を行い、より具体的な商店街エリアの街並み空間の再整備(リノベーション)の検討を地域や関係者とともに進めた。				

KPI		R5増加分	R6増加分	R7増加分	累計(増加分)	単位	R6目標 達成	(参考) 事業開始前
■ 商店街地区で行う試行実験の来場者数	目標値	500	500	1,000	2,000	人	○	-
	実績値	1,500	7,500		9,500			
■ 商店街地区で行う試行実験の回数	目標値	1	1	3	5	回	○	-
	実績値	2	1		4			
■ 商店街地区の商店街組合会員数	目標値	3	3	3	9	会員	×	224
	実績値	5	▲ 11		▲ 9			
■ 仙台市営地下鉄長町一丁目駅、長町駅及び長町南駅並びにJR長町駅の乗車人数の増加率	目標値	0	0.5	1	2	%		100
	実績値	6.3	※		6.3			

※仙台市地下鉄の前年度の乗車人数の公表時期が11月以降となっているため、現時点では把握できていないもの。

1 1.泉中央地区活性化事業【2年目】

計画期間	令和5～7年度	R6交付対象 事業費	総事業費 :12,231,000円 交付確定額: 5,500,000円	担当課	泉区泉中央地区活性化推進室
事業概要	民間主体の協議会の立ち上げや泉6大学の学生を主体としたワーキンググループの開催等を通じて、地域の一体感創出を図り、泉区役所建替を契機とした泉中央地区の賑わい創出に向け、回遊・滞留の仕掛けづくりや将来ビジョン策定に取り組む。				
R6の 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・学生参加によるワーキンググループを実施し、泉中央エリアを拠点に活動する団体と連携し、地域と一体となったまちづくりを実践した。 ・エリアマネジメント組織の設立に向けた検討を行ったほか、泉中央エリアまちづくりビジョンの原案を策定した。 ・泉中央エリアまちづくりミーティングを開催し、事業の進捗状況を市民にお知らせするとともに、アンケートなどの手法で参加者からまちづくりに関する意見を収集した。 				

KPI		R5増加分	R6増加分	R7増加分	累計(増加分)	単位	R6目標 達成	(参考) 事業開始前
■ 泉中央地区の主要な賑わい創出イベントの来場者総数	目標値	7,600	8,360	9,196	25,156	人	○	76,000
	実績値	13,800	13,800		27,600			
■ 地下鉄泉中央駅の乗降者数	目標値	225,184	231,939	238,898	696,021	人	○	7,506,148
	実績値	646,528	336,008		982,536			
■ 泉中央地区人口数	目標値	150	150	150	450	人	×	9,708
	実績値	160	▲ 92		68			
■ 区民広場、泉中央駅周辺(おへそひろば・ペDESTロリアンデッキ)、七北田公園において実施された賑わい創出イベント数	目標値	5	5	5	15	件	○	107
	実績値	7	5		12			